

旧岡山県農学校 現高松農業高校地域向け情報誌

# 備中高松城下町かわら版

http://www.takano.okayama-c.ed.jp/

第 15 号  
 平成 17 年 11 月 21 日  
 発行元  
 岡山県立  
 高松農業高校  
 tel 086-287-3711  
 fax 086-287-3713



写真は、岡山国体の工藤祐士教諭のレスリング・フリースタイル 74kg 級決勝戦。「気合一発」の見出しで翌日の新聞に載ったもの(山陽新聞社提供)

**【朝礼台】** 校長より  
 国民のスポーツの祭典「晴れの国おかやま国体」が終了しました。本校からは、レスリング競技、ライフル競技に教員・生徒が選手として出場しました。が、レスリング競技では工藤教諭が優勝、生徒では横畑君が 3 位、金光君が 5 位入賞を果たしました。ライフル競技でも入賞は逃したものの、藤田さん、中島君、岸本さんが健闘しました。10 月 29 日に行った報告会では、どの顔も自信に満ちた堂々としたものでした。極度のプレッシャーと緊張の中で戦ったことは、貴重な人生体験であったろうと思います。選手以外にも団体主催の立花壇の作成や草花の管理などに、また補助員などのボランティアとして大勢の生徒が裏方で活躍したことも忘れてはなりません。学校を挙げて盛り上げた国体、正に「あなたがキラリでした。」

**【農場】ニユース**  
 10 / 26・27 と農業クラブ全国大会が岐阜県で開催された。本校から出場したうち、農業鑑定競技の園芸科学科 3 年の大植彩葉さんが優秀賞。平板測量に出場の本校チームが第 6 位と大健闘した。

**第 60 回晴れの国岡山国体・天皇杯・皇后杯!**  
 岡山県選手団の皆さんおめでとう、そして  
 金光君・レスリングノフリー 84 kg 級・第 5 位(園芸科学科) 横畑君・レスリングノグレコ 50 kg 級・3 位(農業度土木君) 藤田さん・射撃(エアライフル) 第 10 位(20 発) 第 13 位(40 発)(畜産科学科) 中島君・ビームライフル・第 16 位(生物工学科) 岸本さん・ビームライフル・第 18 位(園芸科学科) 工藤先生・レスリングノフリー・74 kg 級・優勝 陸上・レスリング・射撃各競技の補助員 モニメント製作 期間中競技場周辺の二千個のプラントの灌水をしてくれた園芸科学科の皆さん、ご苦労さまでした。

11 月 4 日栃木県で第 12 回全日本ホルスタイン共進会が開催され同時に開催された学生審査会(良牛を見分ける技術)に、本校から岡山県代表として 5 人が参加し、参加 26 校・80 名の中で畜産科学科 3 年の大角祐二君が、勢多農林(群馬)、瑞穂農芸(東京)の生徒とともに**第 1 位**を獲得した。

**【放課後】**  
 ラグビー部・全国高校ラグビー大会・岡山県予選(11月6日)・高松農業は倉敷工業に惜敗、城東・朝日・玉島ともにベスト4 ならず。  
 柔道部・岡山県高等学校新人柔道大会(11月6日)・倉敷市武道館であった。本校畜産科学科 1 年末廣恵規さんが**第 3 位**に輝く。

弓道部・第 13 回中国高校弓道新人大会(団体)出場 石井秀一君(畜産科学科 2 年)、新谷義典君(園芸科学科 2 年)、信江広介君(農業経済科 2 年)、平田智也君(園芸科学科 2 年)は県予選で**2 位**、11 / 19・20 に米子市で開かれる中国大会に出場。  
 射撃部・全国高校ライフル射撃中国予選(11 / 13・広島県・つづがライフル射撃場)少年男子・ビームライフル 40 発の部で、中嶋一樹君(生物工学科 2 年)が**第 2 位**、女子の部、浅野鈴子さん(園芸科学科 2 年)が**第 1 位**。岸本愛美さん(農業経済科 2 年)が**第 2 位**。少年男子・エアライフル 60 発の部で、中嶋一樹君(前出)が**第 1 位**。フル 60 発の部で、浅野鈴子さん(前出)が**第 1 位**。同女子の部 40 発で、浅野鈴子さん(前出)が**第 3 位**。岸本愛美(前出)が**第 2 位**に入り、来年



ささ花の製作、近付科学科、中庭園芸部、園芸部、本日の写真、タタのモ

3 月熊本で開催される全国選抜大会へ出場が決まった。  
 卓球部・男子・秋季県大会・備北地区予選(10 / 30)で高梁城南・新見北・高梁日新・高梁・総社高校を破り、  
**悲願の第 1 位代表。そして県大会へ**  
 女子も高梁高校に敗れるも県大会へ  
 11 月 12・13 日の県大会では、決勝トーナメント 1 回戦で、小川裕徳君(農業経済科 1 年)が、中村(大安寺)に勝つも 1・3 で惜敗。女子も落合・岡山東商業に惜敗。  
 ソフトテニス部・男子・県新人戦・浦安テニスコート(11 / 12)で萩原隆仁(農業土木科 2 年)、河合亮成(農業土木科 1 年)ペアは、倉敷工業に 4 1 で勝ち、理大附属(第 1 シード)に 0・4 で惜敗した。小林央季(農業土木科 2 年)・石井公浩(畜産科学科 1 年)ペアは、2 回戦東岡山工業に 1・3 回戦 4 2 で勝ち**ベスト 32**、4 回戦で倉敷工業に 3 4 で惜敗。敗者復活戦で岡山南に 4 0 で勝ち、インドア出場権のかかった関西に 2 4 で惜敗**ベスト 24**

「ホームルーム」  
 国体一色だったこの秋。この国体では、本校の長い歴史の中で残しておきたい話がいくつもあ。その一つ、国体の熱気も冷めやらない 10 月 29 日、本校で国体の報告会があった。まず、2 つの競技に出場した 5 人の生徒の紹介。そして、最後に、工藤教諭がマイクに向かう。高校 1 年生の時から十三年間、岡山国体で優勝することが、目標であったこと。周囲の期待はそれ以上だったこと。押しつぶされそうになるくらいプレッシャーに、一週間前から眠れなかったこと。平成十六年の静岡国体の優勝、アテネオリンピックの最終選考会のこと。昨年の埼玉国体のまさかの一回戦敗退のこと。そして試合の二日前にお姉さんから届いたお母さんの手紙のこと、「祐士がひざを怪我していると同じところが痛む」という。その家族が声援を送る中で、準々決勝、準決勝と勝ち進む。その準決勝で痛めた膝。その怪我は試合後「内側靭帯はく離と診断された。」のままで、決勝で加藤陽輔(秋田・日体大職員)と対戦し 2 0 で優勝。翌日の新聞は「決勝に進んだ 4 選手の中で唯一、74 kg 級の工藤が頂点に上り詰めた。逆境の中で勝利だけを求めて挑んだ勇姿は、きつと力となる。」と大きくその快挙を讃えた。私たちはそのことをいつまでも忘れまい。逆境の中にあっても



**【歓声】** 11 月 12・13 日  
 タカヤセ! タカノウ!、をテーマに文化祭があった。一日目の本格的演劇・心温まる各科演劇・聞かせる吹奏楽部と心地良い一時だった。午後には有志のバンド・ダンスなど若さがはじけた。翌日の一般公開では、野外ステージ、焼きソバ・うどん・フライドポテト・あまの塩焼き、PTA の餅つきなど模擬店、科展示、文化部、各種委員会、クラス、そして金友写真館さんの「青春賛歌」写真展と好天にも恵まれ、素晴らしい秋の一日になった。